



伸びる無限大∞  
自分探しトラベラーH



こんにちは、  
業務部の  
RIKUです

## 好きなラーメンについて

皆さんにんくは好きですか？私は大好きです。匂いが強いので、好き嫌いは分かれる食べ物だと思います。ちなみに同じ部署の人からはんにく臭い=私というイメージが定着してしまう程には食べております。そんなにんにく臭い私が紹介したいのが、ご存知の方も多いかと思いますが「ラーメン☆ビリー」です。



二郎系ラーメンの詳細は省きますが、このお店では二郎系ラーメンの特徴でもあるラーメンの提供前に聞かれるニンニク・ヤサイ・アブラの量、味の濃さ(カラメ)をタッチパネルで注文することができるので、初めての方でも気軽に注文できます。なので二郎系ラーメンを食べてみたいけどよくわからないといった方にもおすすめできるラーメンです。さて、写真のラーメンをご覧ください。上にある白のが全てニンニクでございます。ここからは私の感想です。いや〜つい見惚れてしまいますね。最初の一口目は電流が走るかのような美味しさが突き抜けてきます。個人的にはチャーシューの上にニンニクを乗せてスープに沈まないようにして食べるのが好きで、後々にチャーシューとニンニクを一緒に食べるのは最高の組み合わせです。こんな量を食るとお腹がとんでもないことになりませんが、こうやってこそニンニクを食べたなと実感するのでこうなるまでがセットでございます。こんな話をして食べたくなるのは正直微妙な所だとは思いますが、適量にして頂ければ本当に美味しいので気になった方は是非行って見て下さい。私と一緒にニンニクを楽しんでいきましょう。ただ、食べるタイミングと量には気をつけてください。



## 競馬マニアS谷の 競馬豆知識のコーナーです！

初回となります今回は「白毛」馬について紹介したいと思います。  
競馬で走っているサラブレッドの毛色は8種類あって主なものとして鹿毛(かげ)、黒鹿毛(くろかげ)、栗毛(くりげ)、芦毛(あしげ)などがあり、その中の1種類として白毛(しろげ)があります。白毛は他の色の馬に比べてというか全世界的にも極々少数のレアな存在です。というのも突然変異的に産まれるため、競馬の世界でもその白さのメカニズムが十分に解明されていない真白な馬体の馬なんです。そんな白毛馬が30年前に突然、日本で誕生しました。牝馬(ひんば、雌馬のこと)として産まれたこの馬はその美しい真白な姿から「シラユキヒメ」と名付けられました。競争成績は振るわず、勝ち上がることはできませんでしたが、日本一の生産牧場・ノーザンファームでアメリカから高額購入した繁殖牝馬に当時最高の種牡馬(しゅばば 種馬のこと)サンデーサイレンスを種付けして産まれたシラユキヒメは、引退後の繁殖も期待されました。懸念事項は、白毛馬の繁殖牝馬自体が世界的にも例がないことや競争成績が振るわなかったことが挙げられますが、最大の関心事は白毛から白毛が生まれるのか？ということだったと思います。繁殖の結果、初めて産まれた仔馬(こうま)は見事白毛として生まれ(でも勝ち上がれず)、2番目の仔馬がまたも白毛として生まれ、日本の白毛馬として初勝利を上げる活躍をしました。さらに3番仔の待望の牝馬ユキチャンが白毛馬初の重賞ウイナーになるなど、活躍馬をどんどん排出しました。(白毛馬以外も生まれましたけどね)※子供たちの名前が「白」にちなんだ楽しい名前ばかりなんですよ・・・例えばシロクンとかマシュマロとかぶち柄模様の白毛のブチコとか・・・他にもたくさん(^\_^)そして孫の世代からは世界初の白毛のG1馬となったソダシが登場してテレビでも随分注目されましたね。そのソダシもお母さんになって更にこのシラユキヒメ一族(白毛一族とも競馬界では言われてます)が繁栄しているんです。そしてその一族の1頭が60周年記念旅行先にもなっている北海道のノーザンホースパークに繋養されているんです。シラユキヒメの孫でありソダシの従妹でもあるその馬は「ハヤヤッコ」といい白毛の牡馬(ばば 男馬のこと)です。昨年まで競走馬として活躍してG2も勝っておりましたが、怪我で引退してこちらに繋養されることになりました。是非ともそのきれいな姿を見て思い出の一つにしてみてください。他にもG1馬で種牡馬を引退した名馬とかディーブインバクトのお母さんとかもいるので競馬好きにはたまらないですし、他にも乗馬や様々なアトラクション、飲食もできるノーザンホースパーク、楽しみですね。それでは競馬豆知識コーナーの第一回を終わります。評判により2回目以降もあるかもね！？それではまた。



## 編集後記

冒頭のご挨拶でもお知らせしましたが、今回すぐろくを作る事ができませんでした。大変申し訳ありませんm(\_\_)m  
人事異動など言い訳を重ねればキリがないのですが、テキストに済ませることはしなくなりました。次回、全力ですすぐろくを完成させますので、どうかご容赦いただき広い心でお待ちいただけますと嬉しいです。次号は鈴木工業の60回目のお誕生日を迎えた後のタイミングでの発行となりますので、様々な行事のご報告などもあって盛りだくさんになりそうです。早めのスタートを心掛け、みなさまにお楽しみいただける紙面づくりを目指します。  
編集長 S